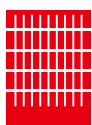


Corporate Information

会社案内

会社概要

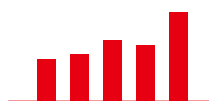
| | |
|-------|---|
| 商号 | 三菱商事RtMジャパン株式会社 Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd. |
| 本社所在地 | 〒100-7027 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 JPタワー27階 |
| 株主 | 三菱商事株式会社 (100%) |



創立
1947年
1月25日



資本金
31億
4,306万2,500円



売上高
3,999億円
(2021年3月期実績)



従業員数
286名
(2021年4月1日現在)

企業理念

当社は、三菱商事の100%子会社として同社創業以来の社是である「三綱領」を包含する「経営理念」を拠り所に、公正で健全な事業活動を推進しています。そして、経営理念実現のため、企業行動の指針としての「企業行動指針」、及び、社員一人ひとりが遵守すべき事項を定めた「役職員行動規範」を制定しています。

経営理念

Vision

RtMJのめざす姿

日本及び世界各国の経済成長と産業の変化・進化を先取りし、総合的な「金属資源トレーディング」会社として、社会的信頼を獲得しながら持続的に成長することを目指します。

Mission

RtMJの企業使命

グローバルなトレーディングを展開することで、時間と空間のギャップを埋める質の高い機能を提供し、顧客やビジネスパートナーが必要とする金属資源・素材の安定供給を果たし、社会の発展に貢献してゆくことが使命です。

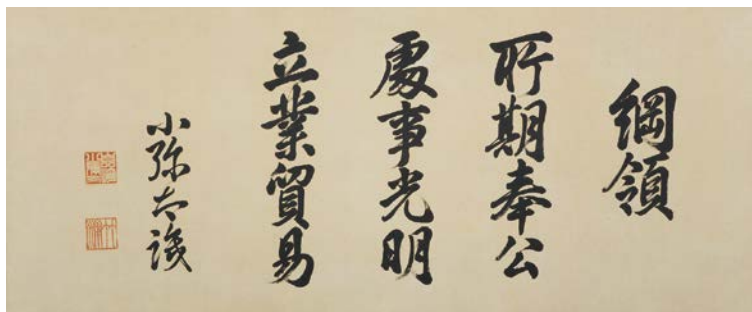
Value

RtMJの価値観・行動指針

三菱商事グループの一員として、三菱商事の「三綱領」を社是とし事業活動の拠り所とします。

三綱領

「三綱領」とは、1920年の三菱第四代社長岩崎小彌太の訓諭をもとに、1934年に旧三菱商事の行動指針として制定されたものです。その精神、価値観は150年余の歴史の中で引き継がれ、今日に於いても生きており、三菱グループの企業活動の指針となっています。



岩崎小彌太筆による三綱領

所期奉公

期するところは社会への貢献

事業を通じ、物心共に豊かな社会の実現に努力すると同時に、かけがえのない地球環境の維持にも貢献する。

處事光明

フェアプレイに徹する

公明正大で品格のある行動を旨とし、活動の公開性、透明性を堅持する。

立業貿易

グローバルな視野で

全世界的、宇宙的視野に立脚した事業展開を図る。

(2001年1月、三菱グループ各社で構成される三菱金曜会にて申し合わされた現代解釈)

沿革

三菱商事 RtM ジャパンの沿革

| | |
|-----------|--|
| 2013年 4月 | 三菱商事の金属資源トレーディング事業を会社分割（吸収分割）により移管、社名を三菱商事 RtM ジャパン株式会社に変更 |
| 2013年 9月 | 本社事務所をJPタワーに移転 |
| 2014年 4月 | 関西支店開設 |
| 2015年 4月 | 東北支店開設 |
| 2016年 2月 | 名古屋支店事務所をJRセントラルタワーズに移転 |
| 2020年 3月 | 関西支店廃止 |
| 2021年 10月 | 名古屋支店廃止 |

三菱商事 RtM ジャパン設立前の沿革

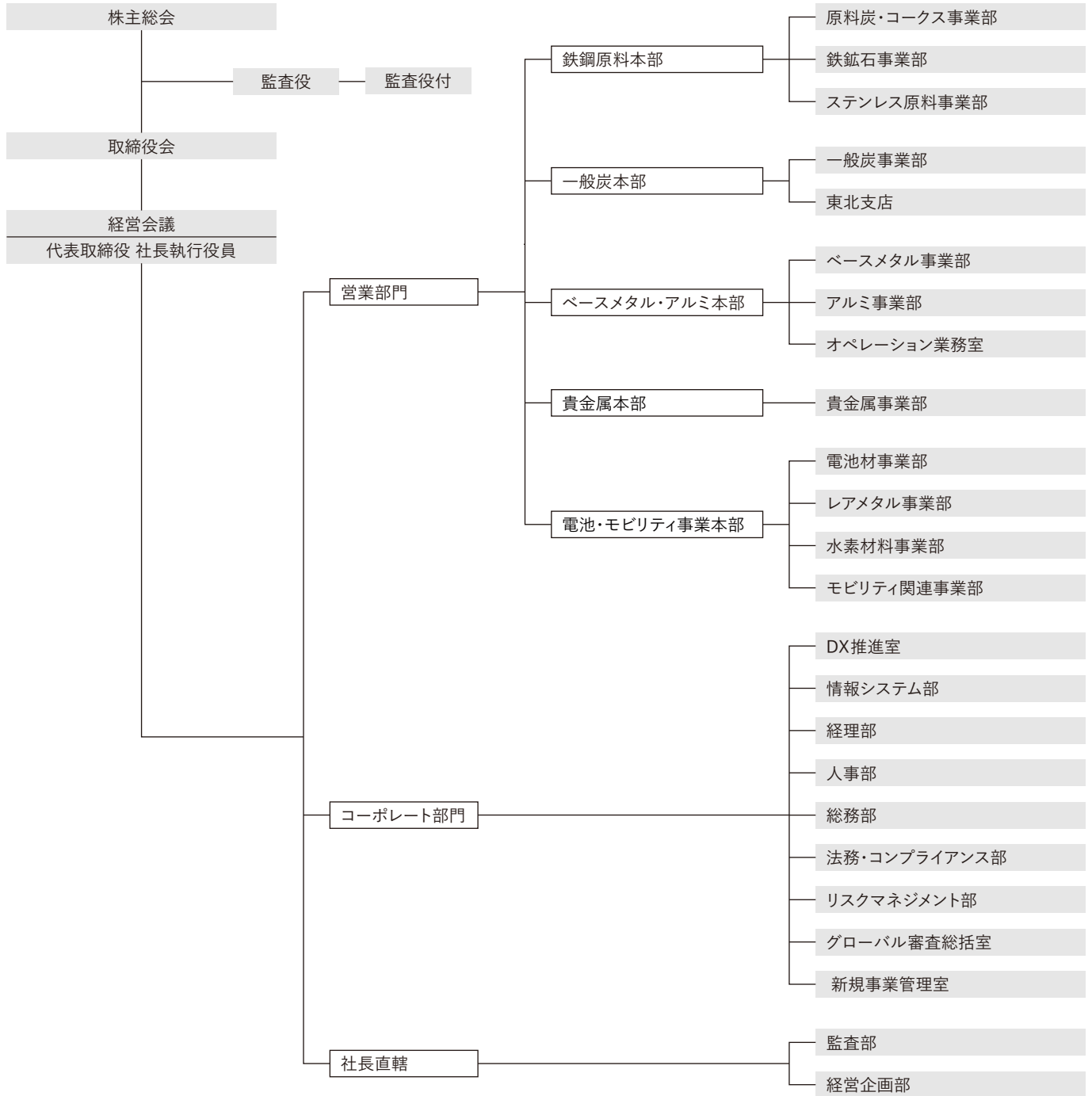
| | |
|-----------|--|
| 1947年 1月 | 非鉄金属を主要取扱品目とする商社として金属商事株式会社を設立（資本金18万円、本社所在地 東京都文京区本郷1丁目9番地） |
| 1948年 8月 | 貿易商社としての基盤を確立、社名を金商株式会社に変更 |
| 1960年 11月 | 大阪の繊維商社であった又一株式会社を合併、社名を金商又一株式会社に変更 |
| 1961年 10月 | 東京・大阪両証券取引所第一部に上場 |
| 1999年 4月 | 社名を金商株式会社に変更 |
| 2000年 11月 | 環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得 |
| 2006年 8月 | 三菱商事株式会社の子会社となり、資本金31億4,306万2,500円となる |
| 2007年 5月 | 三菱商事株式会社子会社（エム・シー非鉄株式会社）の事業の一部を譲り受ける |
| 2008年 3月 | 三菱商事株式会社の完全子会社となる |
| 2009年 4月 | 社名を三菱商事ユニメタルズ株式会社に変更 |
| 2010年 4月 | 三菱商事軽金属販売株式会社を合併 |

役員紹介

| | | | | |
|----------|------------------------|------------------|-----------|---------|
| 取締役(7名) | 代表取締役社長： 土井田 安広 | 代表取締役副社長： 有賀 信之 | 代表取締役 | ： 増田 徹 |
| | 取締役(非常勤)： 世利 耕一 | 取締役(非常勤)： 高城 浩一郎 | 取締役(非常勤)： | 武久 裕 |
| | 取締役(非常勤)： Vineet Kohli | | | |
| 監査役(1名) | 監査役(常勤)： 檜山 充 | | | |
| 執行役員(8名) | 社長執行役員： 土井田 安広 | 副社長執行役員： 有賀 信之 | 常務執行役員 | ： 増田 徹 |
| | 執行役員： 宇田川 健一 | 執行役員： 竹村 英之 | 執行役員 | ： 山崎 秀昭 |
| | 執行役員： 池西 黄太 | 執行役員： 岩田 進太郎 | | |

組織図

2022年4月1日現在



鉄鋼原料

原料炭・コークス事業部

原料炭・コークス事業部では、三菱商事RtMグループの日本拠点として、豪州、カナダ、米国、欧州、中国、インド、インドネシアなど世界の主要マーケット情報の提供や、原料炭の輸入販売活動、コークスの輸出・輸入販売活動などを行っております。三菱商事RtMグループ、及び三菱商事グループのグローバルネットワークを活用し、多様化・高度化するニーズに対応しつつ、お客様の安定的且つ経済的な原料調達に貢献しております。

取扱商品

原料炭、コークス、及び製鉄会社向一般炭



シャベルとトラックによる炭鉱操業



貨車で輸送中の原料炭



原料炭を乾留して製造されたコークス

鉄鉱石事業部

鉄鉱石事業部では、三菱商事RtMグループの日本拠点として、日本・韓国・台湾の高炉製鉄会社向けに世界各地からの鉄鉱石販売活動を展開しております。

三菱商事RtMグループのグローバルネットワークを活用した世界各地のマーケット情報や、三菱商事RtMグループ本社の先物機能や、ばら積み貨物船調達機能を活用することにより、多様化・高度化するニーズに対応しつつ、お客様の長期安定原料調達に貢献しております。

取扱商品

鉄鉱石（塊鉱、粉鉱、ペレット等）



チリの鉄鉱石鉱山



カナダの鉄鉱石専用輸送列車

鉄鋼原料

ステンレス原料事業部

ステンレス原料事業部では、ニッケル鉱石・フェロニッケル・フェロクロムを中心とするステンレス原料を取り扱っております。国内外の優良なサプライヤーとの良好な関係を通じて、世界中のお客様向けに安定供給を行っております。

ステンレスとは、鉄を主成分とし、これにクロムやニッケルを加えた耐食性の高い(= 錆びにくい)合金鋼のことです。ステンレスはその特性を活かし、建築資材や鉄道車両、身近なものではシステムキッチン、魔法瓶等に使われています。又、クロムやニッケルは自動車の軸受鋼や、油井管で利用されるシームレスパイプ等、その他の特殊鋼にも使用されており、産業を材料から支える上で重要な役割を担っております。

フェロニッケルの原料となるニッケル鉱石は東南アジアやニューカレドニアから調達しており、これをフェロニッケル製造会社に販売する取引を行っております。又、フェロニッケルは輸出取引、フェロクロムは輸入取引を中心に多種多様なお客様のニーズにフレキシブルに対応し、安定的な原料調達に貢献しております。

取扱商品

フェロニッケル、ニッケル鉱石、フェロクロム他



フェロニッケル



ダンプアップ



バルク船

一般炭

一般炭事業部

一般炭事業部では、主に発電用の燃料として使われる石炭（一般炭）を取り扱っております。

三菱商事 RtM グループ、及び三菱商事（株）のグローバルネットワークを最大限に生かし、一般炭のトレーディング事業を行っており、三菱商事 RtM グループの日本拠点として、日本のお客様への安定供給の為に、競争力のある一般炭のご紹介に加え、マーケット関連情報の提供や、デリバティブを活用した価格固定等、お客様の多様化・高度化しているニーズに対応したサービスを提供しております。

取扱商品

石炭（一般炭）



豪州石炭積出港

ベースメタル・アルミ

ベースメタル事業部

ベースメタル事業部では、銅・鉛・亜鉛等の原料精鉱、及び銅・鉛・亜鉛・錫等の地金、銅荒引線や型銅などの銅製品を取り扱っております。銅・鉛・亜鉛精鉱は、南米や北米、アジア、オセアニア等の鉱山より産出されます。鉱山で採掘された粗鉱は、磨鉱（粗鉱を細かく砕く）、選鉱（薬品等を加え、攪拌することで金属分を抽出）等の工程を経て、金属含有量を高めたパウダー状の精鉱として、バラ積み船で出荷されます。本邦製錬メーカーへの安定的な原料供給を行うことを最大の使命としつつ、三菱商事（株）が出資する鉱山から生産される精鉱等を販売しております。

銅地金は、電気・熱伝導性に優れ、延展性に富む特性があり、各種電線・伸銅品等に加工された後、建設・家電・電力・自動車等の産業分野で消費されています。三菱商事 RtM グループ、及び三菱商事（株）のグローバルネットワークを通じ、世界のサプライヤーから調達した地金をアジア地域のお客様に供給しております。

錫地金は融点が低い特性がありハンダ・ブリキ鍍金・化成品用途に使われます。再生比率の高い鉛地金はバッテリー・無機薬品・放射線の遮蔽板用途に使われます。亜鉛地金は酸化被膜を作る特性から鉄の防蝕・ダイカスト・伸銅品用途に幅広く使われています。

当社では、本邦を含む世界のサプライヤーの製品を取り扱っており、中でも錫地金は世界第二位の生産者であるインドネシア PT Timah 社の製品を中心に販売を行っております。

取扱商品

銅精鉱 / 鉛精鉱 / 亜鉛精鉱 / 銅地金（電気銅・銅荒引線等） / アノード・スライム



鉱山



船積み



銅地金1



銅地金2



銅荒引線

ベースメタル・アルミ

アルミ事業部

アルミ事業部では、LME上場商品であるアルミ新地金のほか、様々なお客様からのニーズにお応えできる各種アルミ合金地金や、アルミ地金の原料となる、ボーキサイトやアルミナを取り扱っております。三菱商事RtMグループ、及び三菱商事(株)のグローバルネットワークを通じて安定した調達を行い、アルミ価格のヘッジ機能の提供やお客様の需要地点への輸送アレンジ等、マーケットに精通したスタッフがお客様の様々なご要望にお応えしております。

アルミニウム新地金(新塊)とは、ボーキサイトから精製したアルミナを電気分解により製錬し、アルミニウムの純度を99.70%以上に高めた圧延・押出・鍛造・鋳造等アルミ製品用の原材料です。当社では、本邦ならびにアジア地域に於けるお客様に対し、豪州、中東、ロシア、インドといった世界中のアルミ製錬所よりアルミ新地金を輸入・販売しております。また、アルミホイールなどの各種自動車部品の原料となるアルミ合金地金、ならびに圧延・押出製造の原料となるアルミスラブ・ビレットに関しては、安定供給・高品質といったお客様のご要望にお応えすべく、最適なサプライソースをご提案させて頂いております。

取扱商品

アルミ新塊 (P1020、その他高純度品) / アルミ新塊合金 (A356、6063Billet 他)



アルミ新塊



アルミ新塊



主要用途の一つである
アルミホイール



主要用途の一つである
アルミ缶



伝統的なLMEの
場立ち取引



採鉱されたボーキサイト

オペレーション業務室

オペレーション業務室は、ベースメタル・アルミ本部が行うお客様の様々なニーズに合わせた付加価値の高い販売取引を行う為、フロントオフィスの営業サポートや受渡・決済業務を横断的に行うバックオフィス組織です。

貴金属

貴金属事業部

貴金属事業部では、シンガポール・東京・ニューヨーク・ロンドン・上海を中心拠点とする24時間体制で、貴金属地金を生産者等から長期契約により調達し、全世界のお客様向けに安定的に供給しております。加えて、平均価格／長期固定価格契約やリース契約等の多様な取引、三菱商事RtMグループ、及び三菱商事(株)のグローバルネットワークに基づく幅広い市場関連情報提供をしております。

三菱商事RtMグループにおける日本拠点として、当社は、本邦・東南アジア・中国市場等のお客様を中心にお取引しております。昨今の市況価格の高騰・ボラティリティーの拡大に伴い、益々必要とされるリスク管理手法についても、お客様のご要望に添って提供しております。

取扱商品

金、銀、PGM (プラチナ、パラジウム、イリジウム、ルテニウム、ロジウム)

主な工業用途例

金：電子材部品、歯科材

銀：太陽光パネル、感光材

PGM：自動車用排ガス浄化触媒、電子材部品、化学品製造用触媒、歯科材

下記、貴金属を利用した最終製品例



スマートフォン



ハードディスク



太陽光パネル

電池・モビリティ事業

電池材事業部

カーボンニュートラル社会に向けて急成長が期待される電気自動車に必須なリチウムイオン電池の主原料であるニッケル、リチウムやコバルトの需要が今後大きく伸びていくと予想されています。電池材事業部では、これら原料のグローバルなお客様への供給を行っており、将来の更なる安定供給を担うべく様々な新規プロジェクトの開拓に取り組んでいます。

レアメタル事業部

レアメタルやレアアースは電気自動車に必須な永久磁石、スマートフォンに欠かせないSAWフィルターや半導体製造用の研磨剤など、カーボンニュートラル社会の実現やデジタル社会の更なる発展に欠かせない部材の原料です。レアメタル事業部では、レアメタルとレアアースのお客様への安定供給を行っております。

水素材料事業部

カーボンニュートラル社会の実現には水素産業の発展が必須と予想されています。水素材料事業部では、水素産業のコアとなる燃料電池や水素製造装置のコア部材の供給を全世界のお客様へ開始しており、将来の更なる安定供給を担うべく様々な新規プロジェクトの開拓に取り組んでいます。

モビリティ関連事業部

カーボンニュートラル社会に向けて、モビリティ産業では車体の軽量化、電気自動車の開発や使用原材料のリサイクルニーズなどが急速に高まっています。モビリティ関連事業部では、これらニーズに対応する為に必須なモビリティ用アルミ部材の製造・販売・リサイクル事業をパートナー企業様と共に展開しています。三菱商事 RtMグループが有するグローバル産業ネットワークを活用して業界最先端のニーズを捕捉し、このモビリティ用アルミ部材事業を発展させる事で、モビリティ産業全体の更なる発展とカーボンニュートラル社会の実現に貢献して参ります。

国内・海外拠点

国内拠点

| | |
|------|---|
| 本社 | 〒100-7027 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 JPタワー 27階 |
| 東北支店 | 〒980-8571 宮城県仙台市青葉区国分町三丁目6番1号 仙台パークビル 12階 |

海外ネットワーク

